

川西町生成型 A I システム
仕様書

令和 6 年 5 月

川西町総務課

第1章 総則

1.1 導入目的

本町において生成型AIの利用にあたり、セキュリティリスクを回避するとともに、効率的な運用を確立するために、生成型AIシステム（以下、本システム）を導入する。本システムを導入することにより、事務文書作成等の作業補助等への利活用による業務の効率化を図り、職員リソースの有効活用を促進および住民サービスの向上を目的とする。

第2章 選定要件

2.1 システム要件

本システムは、以下の要件を満たすこと。

(1) サービス提供形態

クラウドサービス型であり、インターネットブラウザを用いて生成AIサービスを利用できること。インターネットブラウザについては、Microsoft EdgeまたはGoogle Chromeのいずれかで稼働できることを必須とする。

(2) 大規模言語モデルの水準

ChatGPT4.0以上に相当する性能を持つ大規模言語モデルを搭載していること。

(3) 学習機能の抑止

システム利用時の入出力情報等のデータについて、上記言語モデルの開発元の学習に活用されない機構を有すること。

(4) 認証方式

ユーザーごとにアカウントIDおよびパスワードを用いたアクセス制限を課すこと。

(5) 利用ログの確認

ユーザーごとに本システムの利用履歴や質問内容のログを蓄積するとともに、管理者権限ユーザーにおいて確認を実施できること。

(6) 機能制限の設定

管理者権限ユーザーにおいて、禁止ワードの設定等機密情報保持に関する設定の変更が可能であること。

(7) プロンプトテンプレート

プロンプトの作成にあたり使用可能なテンプレートを有していること。また、新規のテンプレート作成および既存テンプレートの編集が可能であること。

(8) RAG（検索拡張機能）の搭載

各種条例文等の既存データをアップロードし回答作成に活用できる機能を有すること。

2.2 運用要件

本システムを使用するにあたり、以下の運用が可能であること。

(1) アカウント数

20アカウント以上（※）

※導入当初のアカウント数とする。なお、将来的には、必要に応じて所属職員数相当のアカウントへの機能拡充を検討するため、利用契約中にアカウント数の拡大が可能であること。

(2) GPT4利用可能トークン数

300万文字/月以上

(3) サービス提供期間

原則24時間、365日使用可能であること。ただし、メンテナンス等システム維持に必要となる時間帯は除く。

2.3 サポート要件

本システムを導入し、活用するにあたり、以下のサポートが可能であること。

(1) 導入支援

本システムの導入後の操作説明会の実施や導入時の初期設定の支援が可能であること。

(2) 活用推進支援

導入後のシステム利活用に関するサポート対応が可能であること。特にプロンプトの作成支援や利用例の提供等の定着に関しての支援が可能であること。